

新年のごあいさつ

理事長 原口 和久(鴻巣市長)



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いでお健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本組合の事業運営に関しまして、平素より多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、我が国においては、社会保障制度が大きな変革期を迎えており、高度経済成長期の1960～1970年代に構築された制度から、将来にわたり、受益と負担の均衡がとれた制度を確立するため、社会保障改革プログラム法に基づき、各分野(少子化対策・年金・医療・介護等)において、順次改革が行われております。

医療保険制度におきましては、持続可能な制度を確立するための改革が進められており、平成28年度では、後期高齢者支援金の計算基礎となる割合を総報酬に対する3分の2に引き上げることが予定されており、医療保険者である共済組合の更なる負担の増加が懸念され、また、この改革では医療保険者だけではなく、選定療養の義務化など医療を受ける者への負担の公平化も進められることになっております。

一方、年金制度におきましては、被用者年金制度全体の公平性・安定性確保の観点から、昨年10月に共済年金が厚生年金に統合されました。

このことにより、これまで厚生年金と異なっていた保険料率を平成30年9月までに統一するため、毎年9月に総報酬ベースで0.354%ずつ引き上げられることとなり、10月からは「被用者年金制度一元化」に伴い、共

済年金と厚生年金の制度的差異は原則厚生年金に揃え解消し、共済年金独自の「職域年金部分」の廃止と同時に「年金払い退職給付」が創設され、この部分の保険料負担があらたに生じました。

このように、社会保障制度改革は、本組合の事業運営や組合員の皆様に直接影響を与えるものもありますので、今後もその動向を注視し、事務処理等については、的確に処理して参りたいと考えております。

次に本組合を取り巻く状況でございますが、財政の基盤となる掛金・負担金については、昨今の「組合員数の減少」と「給与抑制」など減少傾向になっており、給与の総合的見直しによる影響や後期高齢者支援金の増加も懸念されるなど、引き続き、厳しい財政状況が予想されますが、共済懇談会において、聴取させていただいた多数のご意見・ご要望も踏まえながら、組合員とその家族の生活の安定と福祉の向上に寄与出来るよう、また、期待に応えられるよう、組合会議員一同、最善の努力を尽くす所存でございますので、皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年、リニューアルさせていただいた「アルペンローゼ」につきましては、組合員及びご家族の皆様に愛される施設を目指し、鋭意努力をして参りますので、格別のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

結びに、各自治体のご発展と組合員皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます。

〔市町村長側議員〕

理事長 原口和久(鴻巣市)

理事 富岡清(熊谷市)

(理事長職務代理者)

理事 大橋良一(加須市)

監事 関根孝道(上里町)

理事 清水勇人(さいたま市)

議事 富岡勝則(朝霞市)

議事 新井保美(吉見町)

議事 石川良三(春日部市)

議事 頼高英雄(蕨市)

議事 藤縄善朗(鶴ヶ島市)

〔職員側議員〕

理事 持田明彦(小川町)

理事 田中廣美(所沢市)

理事 國分政義(さいたま市)

理事 板山裕樹(草加市)

理事 松本貢一(新座市)

監事 金田敬司(越谷市)

議事 横溝光男(川越市)

議事 白井正(吉川市)

議事 川野道広(川口市)

議事 坂本善雄(深谷市)

学識経験監事 寺山昌文

事務局長 中村史

外職員一同